



校長室だより 足立区立第九中学校

第4号 令和2年5月12日発行 佐藤 豊



〔入学おめでとうございます〕

4月1日より長塚 琢磨校長の後任として第九中学校に着任した校長の佐藤 豊です。前年度までは、足立区立千寿桜堤中学校の校長として勤務していました。このたび、東京都教育委員会、足立区教育委員会の任命を受け、足立区立第九中学校長として勤務することになりました。

学校は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業が今も続いています。そのため、今年度は大変残念ではございますが、入学式を中止することになりました。

世界中が大きく混乱し、先行き不透明な状況ですが、第九中学校の発展のために力を尽くしていきますので、どうぞよろしく願いいたします。

〔新入生を迎える会 校長あいさつ (抜粋)〕

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは六カ年にわたる小学校の全課程を修了し、義務教育の最終段階である中学校に本日入学されたわけです。今、皆さんの心の中にあるのは楽しかった小学校時代の思い出と、これから始まる中学校生活への期待と不安であろうかと思えます。第九中学校の生徒は「よく挨拶をする」「とても仲良しである」など、良いところがたくさんあります。知育・徳育・体育の調和のとれた生徒の育成が本校生徒の理想の姿であり、現在もこのことを継承しています。

ところで人間には二回、誕生があると言った人がいます。出生時が第一の誕生ならば、中学生時代は第二の誕生とも言われるほど、心身ともに成長が著しい時期であります。従ってこの時期をどう過ごすかととても大切になってきます。新年度を迎えて改めてお世話になる先生方や学校関係者の皆様、新しい学級の仲間との出会いを大切にし、お互いに学び合い、励まし合いながら、思いやりの心をもって生活するなど、お互いが成長できる環境をつくりたいものです。そのために生徒の皆さんと教職員が一体となって努力していきたいと思えます。

保護者の皆様にはお子様の成長に望ましい家庭環境づくりをお願いするとともに何か心配なことがあればいつでもご相談ください。また、地域の皆様には、地域での本校生徒に活躍の場を工夫していただくなど地域活動を通して成長を見守っていただきますようにご支援をお願い申し上げます。

〔言葉の重み〕

「第九中学校にはいやなことを言われたりされたりする人が一人もいない、そういう明るくて健康的な学校を皆さんで創造していきましょう」と。新入生を迎える会でもお話ししました。第九中学校の生徒一人一人がお互いに他人を思いやる気持ちを大切に生活するように願っています。特に言葉を大切に、慎重に遣ってほしいと思えます。第九中学校の生徒は「品がある」と言われるように、言葉遣いにはお互い、注意していきましょう。皆さんの何気ない言葉には、大きな力があります。言葉は、遣い方によっては素晴らしいものにも、人を傷つける凶器にもなります。ですから、日ごろから言葉遣いにはくれぐれも注意してください。

高橋 系吾 作	その一言で	励まされ
	その一言で	夢を持ち
	その一言で	腹が立ち
	その一言で	がっかりし
	その一言で	泣かされる
	ほんのわずかな一言が	
	不思議な大きな力を持つ	
	ほんのちよつとの一言で	
		「その一言」

※ 高橋系吾さんとは、日本の幼児教育に大きく貢献された方です。